

中学校 特別活動

1. 特別活動における学習評価の基本的な考え方

特別活動においては、特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、設置者である市町村教育委員会ではなく、「各学校が評価の観点を定める」としています。

生徒が自己の活動を振り返り、新たな目標や課題がもてるようにするため、活動の結果だけでなく、活動の過程における生徒の努力や意欲などを積極的に認めたり、生徒のよさを多面的・総合的に評価したりすることが大切です。そのうえで、評価規準に即して設定した具体的な「めざす生徒の姿」（おおむね満足できる状況）に照らして、十分満足できる活動の状況がみられた場合に指導要録に○をつけます。

2. 中学校特別活動における9の内容まとめ

学級活動	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
生徒会活動	
学校行事	(1) 儀式的行事、(2) 文化的行事、(3) 健康安全・体育的行事、(4) 旅行・集団 宿泊的行事、(5) 勤労生産・奉仕的行事

文化祭や合唱コンクールといった一つひとつに評価規準を設定するものではない。

3. 育成をめざす資質・能力と評価規準の設定例

例 学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画

「学級活動の目標」及び学習指導要領解説で例示されている「学級活動 (1) において育成をめざす資質・能力」を参考にする。

(1) 学級活動(1)において育成をめざす資質・能力の設定

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

太字部分のように各学校で観点をより具体的にしてもよい。

(2) 評価規準の設定

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ て解決することや他者と協働して取り組むこ の大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付け ている。	学級や学校の生活をよりよくするための課 題を見出すことができる。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見 を生かして合意形成を図り、協働して実践 している。	学級や学校における人間関係を形成し、 見通しをもったり振り返ったりしながら、他者 と協働して日常生活の向上を図ろうとして いる。
文末を「～を理解している、～を身に 付けている」とする。	文末を「～することができる、 ～している」とする。	粘り強く取り組み、自らの活動の調整 を重視することから「見通しをもったり振 り返ったりして」という表現を用いる。 （見通しをもつことで、粘り強い取組み の中で学習を調整する姿につながる）

※ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料に
 内容のまとめごとの評価規準（例）が示されています。

文末を「～しようとしている」とする。

4. 評価体制の確立

学級活動においては、主として学級担任が事前の見通しから事後の振り返りまでの生徒の活動の様子から、積極的によさや可能性を見取るようにします。

また、生徒会活動、学校行事など学級担任以外の教員が指導する場面も多いです。評価に必要な資料を収集する方法を工夫するとともに、それらが学級担任に届き、活用されるようにします。

5. 評価資料を教員から集約するための例

生徒一人ひとりの特別活動の状況を把握し、指導に生かすため、学級活動、生徒会活動、学校行事のそれぞれの評価資料を集約することが考えられます。学期末や年度末などの評価を行う時期に、以下のような評価シートを作成し、学級担任以外の教員が、対象となる生徒の評価結果を記入することにより、評価資料が集約され、効果的に特別活動の評価を進めることが期待できます。

(例) 評価資料集約用シート (学期ごとの例)

特別活動評価資料集約シート

年 組 学級担任名

記入者確認欄 [学年主任・生徒指導主事・養護教諭・〇〇教諭・〇〇教諭・〇〇教諭]

学級活動の評価は、主として学級担任が行うが、必要に応じ学級担任以外の教員から情報を集めることも考えられる。

名前 (役割)	内容	評価の観点			〇印の記入者名とメモ	まとめ
		知・技	思・判・表	主体的態度		
△△△ (生活委員)	学級活動		○		(記入者名) 学級で企画したゴミ拾いボランティア活動を実践した。	
	生徒会活動	○	○ ○	○	(記入者名) 委員長としてリーダーシップを発揮した。 (記入者名) 毎朝あいさつ運動に参加した。	
	学校行事	○	○		(記入者名) 修学旅行での班別活動では班員の世話をする姿をよく見かけた。	

学級担任以外の教員の記録や生徒が作成した記録等を参考に行った評価結果を記入する。

〇印を付けた場合に、記入した教員の名前とその根拠となる事実等を記入する。

国立教育政策研究所「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(中学校 特別活動)」を参考に作成

6. 指導要録における特別活動の記録について (第2学年の記入例)

全学年で共通した、各学校で定めた評価の観点を記入する。

評価の観点の変更がある場合を想定して、余白をとっておく。

特別活動の記録					
内容	観点	学年			
		1	2	3	
学級活動	よりよい生活を築くための知識・技能	○	○		
生徒会活動	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現		○		
学校行事	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度		○		
	余白				

指導要録の「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄に〇を付けた具体的な活動の状況等について端的に記述することが考えられる。

国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(中学校)を参考に作成